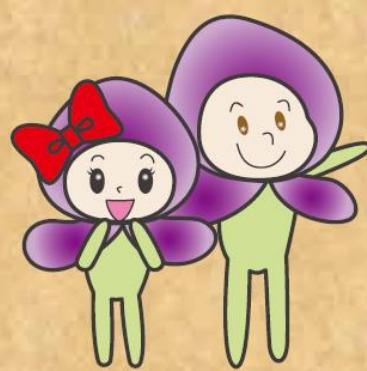


令和2年1月作成



# 大開地区 防災計画



大開地域活動協議会  
福島区役所





# はじめに

## 【自主防災活動】～防災に対する心構えの啓発～

防災面での大開地域は昔から木造家屋が多く、災害が発生すれば被害が大きくなる恐れがあります。

近年、地震・台風・風水害などの自然災害によって、多くの人命や財産が失われています。

平成7年1月に発生した阪神・淡路大震災では「震度7」の激しい揺れによって一瞬にして建物が倒壊し、多くの人々が閉じ込められました。

特に東日本大震災以降、予測できない地震への危機感が高まり、より手厚い防災への備えを望む声が高まっております。

消防署などの防災機関は、全力をあげて取り組んでいますが、道路の破損また停電等活動が制限され、災害対応能力が大きく低下するため、「自分達の地域は自分達で守る」という観点から「大開地区の防災計画」を作成し、協力体制を確立することは不可欠です。

そのためにも、日頃から防災活動に必要な多くの知識を体得することを目標にしなければなりません。





# 目次



## ① 基本方針

1p

- 【1】目的
- 【2】計画の対象地域
- 【3】活動目標

## ② 大開地域の特性と予想される災害

2p

- 【1】地域の特性
- 【2】防災面からみた大開地域
- 【3】海溝型地震（南海トラフ巨大地震）
- 【4】直下型地震（上町断層での地震）
- 【5】液状化可能性想定図
- 【6】津波被害・河川氾濫・内水氾濫での被害
- 【7】福島区の被害想定
- 【8】大開地域の被害想定

## ③ 自主防災組織（災害対策本部、避難所運営委員会、町会）

7p

- 【1】組織
- 【2】地域災害対策本部の組織図・役割
- 【3】避難所運営委員会の組織図・役割
- 【4】町会の自主防災組織図・役割
- 【5】避難所開設の準備
- 【6】地域防災リーダーの役割

## ④ 自主防災組織および個人の日頃の取り組みと発災時の行動

10p

- 【1】日頃の取り組み
- 【2】災害時の取り組み

## ⑤ 自主防災組織および個人の日頃の取り組みと発災時の行動

13p

- 【1】要援護者名簿を活用した支援の実施
- 【2】「避難行動要支援者名簿」の作成
- 【3】「避難行動要支援者名簿」の管理方法
- 【4】「避難支援プラン（個別計画）」の作成
- 【5】避難行動要支援者への自助の促進

## ⑥ 災害時ボランティア

15p

## ⑦ 備蓄について

15p

## ⑧ 自主防災組織の訓練

17p

## ⑨ その他

17p

## 防災マップ

18p

## 資料編

19p

# ① 基本方針

## 【1】目的

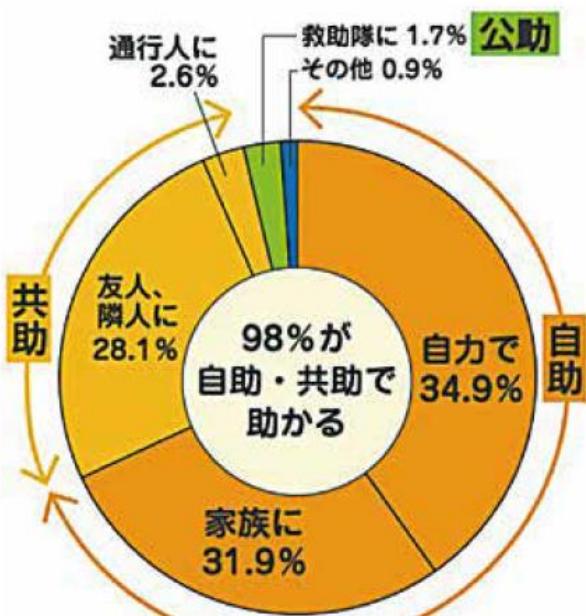
この計画は、大開地域住民の防災活動に必要な事項を定め、『自助』『共助』が一体となって、地震など災害による地域の人的、物的被害の発生及び、その拡大を防止することを目的とします。

## 【2】計画の対象地域

この計画の対象地域は、大開連合(大開1丁目、2丁目、3丁目、4丁目の一部)とします。

## 【3】活動目標

地域の住民、自主防災組織の各メンバーによる『自助』『共助』を基本とした継続的な防災活動や訓練を実施し、防災力向上に努めます。



災害被害を軽減するには、**連携が重要**です。

**自助:**自分(家族)の命を自分(家族)で守ること  
**共助:**地域の皆さんで互いに助け合うこと  
**公助:**国や市の行政機関が対策を行うこと

(社)日本火災学会:「兵庫県南部地震における火災に関する調査報告書」

阪神・淡路大震災では、生き埋めになり救助された人の98%が自助・共助で助けられました。一方、公的機関によって生存したまま救出された人はわずか1.7%という記録が残っています。